

静岡県 市区町村		※Q1の回答は担当者の個人情報であるため省略。									
Q2 本庁の行政職員のうち、防災・危機管理部に配置されている女性職員の状況を教えてください。 (令和4年12月31日現在)		Q3 令和4年1月1日から令和4年12月31日までの間に、職員に対し、「男女共同参画の視点からの防災」をテーマにした研修・訓練を1回以上実施しましたか？		Q4 男女共同参画の視点からの防災研修・訓練を実施するにあたり、どのような取組を行いましたか？							Q5 Q4でその他を選択した場合には回答をお願いします。
防災・危機管理部職員総数(人)	うち女性人数(人)	はい	いいえ	Q3で「いいえ」と回答	「災害対応力を強化する女性の視点～男女共同参画の視点からの防災・復興ガイドライン～」を教材として活用した。	「災害対応力を強化する女性の視点」実践的学習プログラム(令和3年5月)を教材として活用した。	研修・訓練の企画から実施まで、男女共同参画担当部局と防災・危機管理部が連携して取り組んだ。	男女共同参画部局または男女共同参画センターの職員が講師を務めた。	男女共同参画部局、防災・危機管理部以外の、災害対応を行う部局(福祉・教育・保健担当等)の職員が参加した。	女性職員への参加動員(広報、声かけ等)を行った。	その他
静岡市	17	2	○				○				
浜松市	24	2	○					○			
沼津市	17	1		○	○						
熱海市	7	1	○							○	
三島市	9	2	○				○	○			○
富士宮市	7	0		○	○						
伊東市	8	1	○								○
島田市	11	1		○	○						
富士市	12	1	○				○				
磐田市	9	1		○	○						
焼津市	18	2	○								9
掛川市	12	1	○								○
藤枝市	13	2		○	○						
御殿場市	7	0		○					○		
袋井市	11	1	○						○		○
下田市	9	0		○	○						
裾野市	8	1		○	○						
湖西市	10	2		○	○						
伊豆市	8	0		○	○						
御前崎市	8	1	○								○
菊川市	8	0	○								○
伊豆の国市	8	2	○								○
牧之原市	11	1		○	○						
東伊豆町	4	1		○	○						
河津町	4	1		○	○						
南伊豆町	3	0		○	○						
松崎町	0	0		○	○						
西伊豆町	4	0		○	○						
函南町	4	0		○	○						
清水町	5	0		○	○						
長泉町	7	1		○	○						
小山市	5	1	○						○	○	
吉田町	8	0	○					○			
川根本町	3	0	○						○		
森町	4	1	○						○	○	

静岡県		Q6		Q7		Q8		Q9										Q10			
市区町村		地方防災会議を設置していますか。		地方防災会議の委員の人数(委員長を含む)について教えてください。(令和4年12月31日現在)		地方防災会議に女性委員を増やすための取組をしていますか?		地方防災会議に女性委員を増やすためにどのような取組を行っていますか?										Q9でその他を選択した場合には回答をお願いします。			
		はい	いいえ	防災会議委員の総数(人)	女性委員数(人)	はい	いいえ	Q6で「はい」と回答	Q8で「はい」と回答、または「いいえ」と回答	防災会議の委員に関する条例を改正した。	5号委員について、庁内職員を任命する際には、職位に関わらず積極的に女性職員を登用した。	7号委員について、指定地方公共機関から女性の役員又は職員を登用した。	8号委員について、自主防災組織を構成する者又は字頭経験のある者のうち、女性を積極的に登用した。	9号委員について、下部組織(部会等)や実質的な事務を担う幹事に女性を登用した。	委員を公募し、女性を積極的に登用した。	専門性を有する女性の人材リストを作成し、関係団体への女性委員の推薦を要請した。	男性委員に対し、男女共同参画の視点に関する研修や情報共有を行った。	その他			
静岡市		○		45	4	○							○								
浜松市		○		34	3	○													○	委員改選時の推薦依頼を行う際に「前例や役職にとらわれることなく積極的な女性登用を検討してほしい」旨の案内を行っている。	
沼津市		○		44	6	○													○	団体等に委員の推薦をいただく際、女性委員の推薦について配慮の依頼を行った。	
熱海市		○		29	2	○												○	○		
三島市		○		35	4	○													○	委員区分「その他市長が認める者(三島市防災会議条例第3条第5項第10号)」において、三島市消防団部長(女性団員)を登用した。	
富士宮市		○		43	4	○							○						○	委員の所属する団体に女性委員の選出をお願いした。	
伊東市		○		47	8	○							○						○		
島田市		○		29	3	○							○								
富士市		○		40	8	○							○								
磐田市		○		25	3		○														
焼津市		○		32	1		○														
掛川市		○		33	12	○							○								
藤枝市		○		47	6	○													○	地域防災計画に地方防災会議の女性委員を増やす旨を記載した。	
御殿場市		○		34	1		○														
袋井市		○		22	2	○													○	7号委員、8号委員いずれにおいても、各機関における専門的知識を有し、審議可能な資質を有する女性委員がいる際は、積極的な任用に努めている。 また、各機関から選出された委員が男性だった場合は、審議案件に関する各機関の女性職員の意見をあらかじめ聴取いただく等、女性意見が本市防災施策に反映されるよう努めている。	
下田市		○		36	0		○														
裾野市		○		29	2	○															
湖西市		○		22	2		○														
伊豆市		○		26	1		○														
御前崎市		○		29	2	○							○								
菊川市		○		29	1		○														
伊豆の国市		○		31	2		○														
牧之原市		○		34	1		○														
東伊豆町		○		30	3		○														
河津町			○	0	0			○													
南伊豆町		○		25	1		○														
松崎町		○		18	0		○														
西伊豆町		○		19	1		○														
函南町		○		21	1		○												○	函南町地域防災計画【抜粋】共通対策編 「第19節 男女共同参画の視点からの災害対応体制整備 町は、男女共同参画の視点から、防災会議の委員に占める女性の割合を高めるよう取り組むとともに、男女共同参画担当部課が災害対応について庁内及び避難所等における連絡調整を行うとともに、平常時及び災害時における男女共同参画担当部課の役割について、防災担当部課と男女共同参画担当部課が連携し明確化しておくよう努めるものとする。」と記載しておりますが、具体的な取り組みは行っておりません。	
清水町		○		25	4	○								○							
長泉町		○		25	1	○													○	町内の男女共同参画団体から委員を登用した。	
小山町		○		25	1	○															
吉田町		○		31	5		○														
川根本町		○		19	0		○													○	委員には町幹部職員等が委嘱されることになっており、町幹部職員にも女性の登用を推進している。令和5年3月に町幹部職員から1名の女性委員が委嘱される見込み。
森町		○		18	1	○				○	○		○								

静岡県 市区町村	Q11 これまでに地域防災計画や避難所運営に関する指針（手引き、マニュアル、ガイドラインを含む）の作成・修正にあたって、男女共同参画の視点を取り入れるための取組をしていますか？ （令和4年12月31日時点）			Q12 地域防災計画や避難所運営に関する指針（手引き、マニュアル、ガイドラインを含む）の作成・修正にあたり、男女共同参画の視点を取り入れるためにどのような取組を行っていますか？					Q13 Q12でその他を選択した場合には回答をお願いします。	Q14 避難所運営に関する指針（手引き、マニュアル、ガイドラインを含む）に次の項目が記載されていますか？							Q15 Q14でその他を選択した場合には回答をお願いします。
	はい	いいえ	指針を作成・修正していない	Q11で「いいえ」または「指針を作成・修正していない」と回答	防災・危機管理担当部局と男女共同参画部局や男女共同参画センターと連携して作成した。	男女共同参画部局や男女共同参画センターの役割を位置づけた。	住民参画によるワークショップや意見交換を実施し、女性の意見を聞くための工夫をした。	その他	記載されていない、またはQ11で「指針を作成・修正していない」と回答	プライバシーの確保	情報の伝達、コミュニケーションの確保	妊産婦、乳幼児を持つ女性への支援	避難所内での託児所の設置	病人、障害者、高齢者などの世話をしている方への支援	女性への暴力やセクハラ防止のための安全対策	避難所運営への女性の参画の推進	その他
静岡市	○				○					○	○	○		○	○	○	
浜松市	○				○					○	○	○		○	○	○	
沼津市	○						○	○	○	○	○			○	○	○	
熱海市	○					○				○	○	○				○	
三島市	○						○			○	○	○		○	○	○	
富士宮市	○					○				○	○	○		○			
伊東市	○							○	○	○						○	
島田市	○							○	○	○	○					○	
富士市	○				○	○	○			○	○	○		○	○	○	
磐田市	○							○		○	○	○	○	○	○	○	
焼津市			○	○													○ 県の避難所運営マニュアルに基づき、自主防災会への支援を行っている。
掛川市	○							○	○	○	○					○	
藤枝市	○							○	○	○	○				○	○	
御前崎市		○		○					○								
袋井市		○		○					○		○			○	○	○	
下田市	○						○			○	○	○		○	○	○	
裾野市	○						○			○	○	○		○	○	○	
湖西市	○				○			○	○	○	○			○	○	○	
伊豆市		○		○					○	○	○			○	○		
御前崎市	○							○	○	○							
菊川市	○							○	○	○	○	○	○	○	○	○	
伊豆の国市	○							○									
牧之原市		○		○					○	○							
東伊豆町		○		○													○ 静岡県の避難所運営マニュアルに準ずる
河津町		○		○						○	○			○			
南伊豆町	○						○			○	○	○		○			
松崎町		○		○						○	○				○	○	○ 女性や子どもへの犯罪に対する対策
西伊豆町		○		○						○	○						
函南町		○		○					○								
清水町		○		○						○		○			○	○	
長泉町	○				○					○	○	○	○	○	○	○	
小山町	○					○				○	○	○	○	○	○	○	
吉田町	○						○			○	○	○					
川根本町	○					○		○	○	○	○			○	○		○ 県地域防災計画、避難所運営マニュアル等を参考に見直しをおこなった。
森町	○				○					○	○	○		○	○	○	

静岡県 市区町村	Q21			Q22		Q23					Q24	
	Q18～20の備蓄品について、期限管理や定期的な在庫確認（棚卸し）について備蓄計画等で決めていますか？ (令和4年12月31日時点)			これまで物資の備蓄にあたり、男女共同参画の視点を取り入れるための取組をしていますか？ (令和4年12月31日時点)		物資の備蓄にあたり、男女共同参画の視点を取り入れるためにどのような取組を行っていますか？					Q23でその他を選択した場合には回答をお願いします。	
	はい	いいえ	計画を策定していない	はい	いいえ	Q22で「いいえ」と回答	物資の準備の際にガイドラインの「備蓄チェックシート」を活用した。	物資の準備の際に女性職員や男女共同参画部局の職員が参画した。	公的な備蓄だけでは対応できない事態が生じることを想定し、女性、乳幼児等が必要とする物資の調達のため、倉庫業者や運送業者等の関係団体や企業との協定訓練や各種イベント等を通じて啓発した。	住民に平常時から備えを促すため、女性用品や乳幼児用品を含む生活必需品のローリングストックや非常時持出袋の準備等について、防災訓練や各種イベント等を通じて啓発した。	その他	
静岡市			○	○					○	○		
浜松市	○			○				○	○	○		
沼津市	○			○						○		
熱海市	○				○		○					
三島市	○			○				○	○	○		
富士宮市			○		○		○					
伊東市		○			○		○					
島田市		○		○							○	公的な備蓄だけでは対応できない事態が生じることを想定し、地域の避難所運営組織への女性の参加を促進し、地区で必要な備蓄品等の検討の中で女性の視点を入れるようにしている。
富士市	○			○					○	○		
磐田市	○			○					○			
焼津市		○		○						○		
掛川市	○			○						○		
藤枝市	○			○				○				
御殿場市	○			○					○	○		
袋井市	○			○				○		○		
下田市			○	○			○					
裾野市	○			○						○		
湖西市		○			○		○					
伊豆市			○	○						○		
御前崎市	○			○			○			○		
菊川市	○			○						○		
伊豆の国市	○			○				○				
牧之原市		○		○					○	○		
東伊豆町		○			○	○						
河津町			○		○	○						
南伊豆町			○		○	○						
松崎町			○	○				○				
西伊豆町		○			○	○						
函南町	○				○	○						
清水町	○			○				○				
長泉町		○		○				○				
小山町	○				○			○	○	○		
吉田町	○			○					○	○		
川根本町	○			○					○	○		
森町		○		○						○		

静岡県 市区町村	Q25 これまで自主防災組織への女性の参画を促すための取組をしていますか？ (令和4年12月31日時点)		Q26 これまで自主防災組織への女性の参画を促すためにどのような取組を行っていますか？				Q27 Q26でその他を選択した場合 には回答をお願いします。	Q28 これまで地域の防災活動に女性が参画するための取組をしていますか？ (令和4年12月31日時点)		Q29 地域の防災活動に女性が参画するためにどのような取組を行っていますか？				Q30 Q29でその他を選択した場合には回答をお願いします。
	はい	いいえ	Q25で「いいえ」と回答	自治会長や自主防災組織の男性リーダーに対し、男女共同参画の視点の重要性についての理解促進や啓発を行った。	女性による自主防災組織の形成を支援した。	その他	はい	いいえ	Q28で「いいえ」と回答	女性を対象とした防災リーダー養成講座を実施した。	男女共同参画の視点からの防災をテーマにし、住民向けの防災講座やセミナーを実施した。	女性を中心とした防災訓練を実施した。もしくは、防災訓練に女性の参加者を増やすための工夫を行った。	その他	
静岡市	○			○				○		○	○			
浜松市	○			○				○		○	○			
沼津市	○			○				○		○	○			
熱海市	○			○	○			○					○	防災訓練の場などで、女性が参画することについて説明した。
三島市	○			○				○				○	○	自主防災組織リーダー研修会(避難所開設訓練)において組織からできる限りの女性の参加を募った。【女性参加実績 R4:237人参加(内52人女性)】
富士宮市	○					○	自主防災組織へ女性役員の登用を促す文書を送付		○	○				
伊東市	○			○				○					○	自主防災組織の役員に女性を登用するように呼びかけた。
島田市	○			○				○					○	自主防災組織に、周知啓発を実施。
富士市	○			○				○			○			
磐田市	○			○				○			○	○		
焼津市	○			○		○	自主防災会に対して、防災リーダー育成講座を開催し、大学教授による「女性の視点を活かした自主防災会活動と災害時対応」について講演をいただいた。	○			○			
掛川市	○			○	○			○			○			
藤枝市	○			○				○		○	○	○	○	藤枝女性防災ネットワークを立ち上げ、女性の視点を取り入れた避難所運営リーフレットを作成し、周知活動を実施するほか、地域の防災役員とともに避難所のレイアウトを検討。
御殿場市	○					○	年度替わりの役員交代時期に、男女共同参画の視点を踏まえた避難所運営ができるように組織の見直しや、役員の選任時に男女共同参画の視点を取り入れるよう促した。	○			○			
袋井市	○			○		○	・地域に対し、自主防災隊役員への女性の登用を依頼(防災委員については、委員の52.7%が女性) ・防災隊長会議や防災講話にて「東京くらし防災」などの啓発冊子を配布し、女性視点での防災に必要な性を推進	○					○	・自主防災隊役員への女性の積極的な登用を図ることで、訓練への女性参加を増やし、女性目線での避難所運営の在り方を推進
下田市		○		○					○	○	○			
福野市	○			○				○		○	○			
湖西市	○					○	女性防災講座を実施している。	○			○			
伊豆市		○		○					○	○	○			
御前崎市	○			○				○			○			
菊川市	○					○	地区の会議において、女性役員の積極的な登用をお願いした。	○			○			
伊豆の国市	○					○	自主防災組織から〇名、県の実施する「災害対応力を強化する女性の視点」研修に参加しました。		○	○				
牧之原市	○			○					○	○				
東伊豆町		○		○					○	○				
河津町		○		○					○	○				
南伊豆町	○			○				○					○	県が主催する研修に職員が参加し、地域住民への働きかけを行った。
松崎町	○			○					○	○				
西伊豆町		○		○					○	○				
函南町		○		○					○	○				
清水町	○			○					○	○				
長泉町	○			○					○	○				
小山町	○			○				○		○				
吉田町	○			○					○	○				
川根本町	○			○	○			○					○	自主防災組織の防災訓練計画時に、男女の視点を取り入れた訓練事例等を紹介するなど啓発した。
森町	○			○				○			○			

※令和4年1月1日～12月31日の間に発生した災害、及び過去の災害に対しての災害対策本部（又は復興対策本部）で同期間も活動を続けているものについて回答したもの。													
静岡県 市区町村	Q31 令和4年1月1日から令和4年12月31日までの間に、災害対策本部（災害対策基本法で定義される災害対策本部に限る。）が設置されましたか？（※）		Q32 災害対策本部において、男女共同参画の視点からの取組を行いましたか？（※）					Q33 Q32でその他を選択した場合には回答をお願いします。（※）	Q34 令和4年12月31日時点において、災害対応業務に参画する女性職員・男性職員に対する支援対策を行っていますか？				Q35 Q34でその他を選択した場合には回答をお願いします。
	はい	いいえ	Q31で「いいえ」と回答	災害対策本部の構成員に男女共同参画担当部長、又は男女共同参画センター長を配置した。	災害対策本部や下部組織（避難所対策チーム等）、事務局組織に女性職員、男女共同参画担当部長、男女共同参画センターの職員を配置した。	その他	取組をしていない	特にしていない	女性職員が宿直等を安全・安心に行える環境の整備をしている。	庁舎内で一時的にこどもを預かるための場所、人材を確保している。	民間の保育事業者や介護事業者等とこどもや要配慮者等の一時預かりに関する協定を提携している。	メンタルヘルスクアを行った。 （例：災害対応に携わる職員自身も被災者であることから、支援側のストレス緩和や心身のケアのための休業や相談環境の整備等）	その他
静岡市	○			○	○							○	
浜松市	○			○	○			○					
沼津市		○	○					○					
熱海市	○				○							○	
三島市		○	○										○
富士宮市		○	○					○					
伊東市		○	○					○					
島田市	○						○						○
富士市	○			○									○
静岡市	○				○							○	
焼津市	○			○	○			○					
掛川市	○			○	○			○					
藤枝市	○						○						
御殿場市		○	○						○				
袋井市	○			○				○					
下田市	○				○			○					
裾野市		○	○					○					
湖西市		○	○					○					
伊豆市	○						○	○					
御前崎市	○						○	○					
菊川市	○						○	○					
伊豆の国市		○	○					○					
牧之原市	○			○	○			○					
東伊豆町	○						○	○					
河津町	○			○				○			○		
南伊豆町		○	○					○					
松崎町	○						○	○					
西伊豆町		○	○					○					
函南町		○	○					○					
清水町		○	○					○					
長泉町		○	○					○					
小山町		○	○							○	○		
吉田町		○	○					○					
川根本町	○			○	○							○	○
森町		○	○					○					

